



当番でもない子どもも積極的に手伝う。だれにすすめられたものでもなく自主的に

した。子どもたちは、自分の身の回りのことは自分でする生活の中で、掃除、洗濯、食事当番など協力し合い、何をすればいいのか自分で考えるなど、集団生活の体験の中で「生きる力」について身をもって学びました。

### ゆとりの中で じっくり学習していく

完全学校週5日制が実施され、学校での授業時間が減り、授業内容も変わりました。今まで多くの知識を教えがちな教育から、ゆとりを持って学習できる授業へと変わり、子どもたちが社会の変化に対応し、たくましく生きていくための力を育てるために「総合的な学習の時間」が設けられました。

この時間は、各教科などの学習で学んだ知識をさまざまな体験活動の中で実感をもって理解したり、学び方を身につけて、生涯学習の基礎となる「生きる力」を育てています。町内の各学校では、それぞれが創意工夫をしながら、地域の文化や社会体験など特色のある学習に取り組んでいます。

# 学校の取り組み

## 黒坂小学校の「総合的な学習の時間」は、3

年生が地域のことを学び、4年生が自然のリサイクル、5年生がボランティア活動、6年生が人権について、年間を通して学んでいきます。

子どもたちには、自分で課題を見つけて解決していく力や目標を持ちあきらめない強い心を身につけてほしいと思います。また、生きた知識の中から自分の生き方や将来についても考え



黒坂小学校長

## 鳥居敏子



花を植えて黒坂駅前の美化に取り組む

てほしいです。

地域では、子どもたちの受け皿が充実し、子どもたちもよく参加しているみたいです。自分で何がしたいのかを考え、自分にあつたものをその中から選んでくれればと思います。

子どもたちが地域に出かけることで、地域も元気になったと話を聞き、互いにいい関係になっていっていると思います。楽しいことも大切ですが、つらい体験も必要です。時には厳しく指導していただきたいと思います。地域の皆さんには、子どもたちのことを温かく見守ってほしいと思います。